

今月のスカイプは7月13日に続いて2回目。本校の生徒は前回と同じだが、バンコク側では新しい生徒が加わり、さらに新鮮な交流となった。

### 【前日までの準備】

前回は会話のキャッチボールがうまくできず、期待した成果が得られたとはいえない。本校生徒の振り返りアンケートに挙げられていた反省をまとめると次の3つ。



- ①相手から投げられたボールをうまくキャッチできない。
- ②周りの状況を見ずにひたすらボールを投げ続けてしまう。
- ③返すボールが見つからず、キャッチボールが止まってしまう。

そこで今回は、予め質問項目を決めておくだけでなく、相手がどんな答えを返してくるかをある程度予想し、かつ、相手の様子を見ながら会話を進めていくようにした。

### 【スカイプ交流】

11:00 スカイプ開始 以下は、各グループの主な質問と相手側の回答



**Q1 聞いたことのある日本人の名前は？ → A1 (バンコクの生徒は、やや考えて)安倍晋三。**

\* 安倍首相という答えは予想しており、別の iPad ですぐに画像を検索してバンコクと確認し合った。また本校からワチラロンコン国王の画像を示したところ、バンコク生徒からは「オーマイゴッド」の声が上がった。「オーマイキング」ではなかった。そのときノイ先生はすかさず、前プミポン国王の名前を出し彼の業績をほめたたえていた。高潔な人柄でタイの経済発展に大きな足跡を残したプミポン国王の影響力を再認識した。

**Q2 夏に祭はあるか？ → A2 バンコクの夏は暑いため祭にあたるものはない。**

\* 日本では全国で花火大会が行われると伝え、大輪の花火の画像を見せた。「納涼」という日本語のニュアンスがタイの人々に伝わるコメントをするとよかったと思う。

**Q3 尊敬する人物は？ → A3 ブッダ。**

\* 敬虔な仏教徒が多いバンコクゆえにその答えは当然ではあるが、実は全く予想していなかった。本校生徒は、「あなたはどうか？」と聞かれることを予想し、「祖母。家の中のことをてきぱきしてくれる。また、何でも知っていて、手先が器用で細かいことまででき、尊敬できる」と答えようと準備していたが、機会を逸してしまった。人生の機微を味わう瞬間であった。

**Q4 タイの制服は季節によって替わるか？ → A4 制服は一つしかない。気温が安定しているためである。**

\* 平均気温は安定しているが、雨季・乾季の二つの制服があるのではと予想していた。本校生徒は、ここで日本の例を出しつつ、iPad から画像を検索し黒や紺の学生服やセーラー服を見せた。日本の衣替えについてバンコク生徒に理解を深めてもらえたようである。

**Q5 タイには給食はあるか？ → A5 スープ付きのランチが出る。**

\* このあたりになると本校生徒は慣れてきていて、「日本では小中学校では給食があるところが多いが、高校では弁当を家から持ってきて、その弁当は母がつくることが多い。」と答えることができるようになっていた。その際もすぐにバンコク側から「お母さんは大変だね」との労いもあり、なごやかムードは一気に高まった。



12:15 その他フリートーク

日本の季節の話から、雪の話になった。実際に雪を見たことがある生徒はいなかった。そこでこちらから「雪だるま」や「雪合戦」の画像を見せたところ、まるで画面の雪を解かしてしまうほどの熱気がバンコクから伝わってきた。一方で、雪景色の画像を見せ「雪は汚れたものを覆い隠すことができる点でも美しい。実は、自分も雪が積もった後の、その一面の純白に同化したくなる時がある」と表現できるとよかったが・・・それは今後の課題である。

次回のスカイプは、8月下旬を予定している。できれば学校祭の準備中の様子の中継・発信できればと思う。